Sp2/0-Ag14

400481

□要

□明

Sp2/0-Ag14□胞株は、一般にSp2/0と呼ばれ、モノクローナル抗体の生産に広く用いられているマウス骨髄腫 □胞株である。BALB/cマウス系統に由来するこの □胞株は、免疫マウスの脾臓□胞と、酵素ヒポキサンチン・グアニンホスホリボシルトランスフェラーゼ（ HGPRT）を欠損した骨髄腫□胞との融合によって開発された。この欠損により、Sp2/0□胞はHAT（ヒポキサンチン、アミノプテリン、チミジン）培地では生存できなくなる。この選択的培地ではハイブリドーマ□胞のみが増殖できるため、免疫マウスの脾臓 □胞と融合させた場合、ハイブリドーマの選択に極めて重要な機能となる。

Sp2/0-Ag14□胞株は、□胞培養における安定性と頑健性が特徴であり、ハイブリドーマ産生に好ましい宿主である。ハイブリドーマが産生するモノクローナル抗体と干渉する可能性のある内因性免疫グロブリンの分泌を防ぐため、この □胞では免疫グロブリンが産生されないことが重要な特徴である。この □胞株は、広範な抗原に対するモノクローナル抗体の作製に、科学研究および産業応用において広く使用されている。産生された抗体は研究、診断、治療用途に使用されており、バイオテクノロジーおよび製薬産業におけるSp2/0□胞株の有用性が強調されている。

ティッシュ	血液
病気	B□胞ハイブリドーマ

同義語

- SP2/0-Ag14
- SP2/0-AG14
- SP2/0-ag14
- Sp2/O-Ag14
- SP2/O-Ag14
- Sp2/0-Ag-14
- SP2-0-Ag14
- SP2/0 Ag-14
- SP-2/0-AG14
- Sp 2/0-Ag 14
- Sp2/0
- SP2/0
- Sp2/O
- SP2/O
- SP-2
- SP2
- GM03569
- GM3569
- GM03569B
- GM3569B
- GM03569D

分類

生物	マウス
成長特性	付着状態および浮遊状態
バイオセーフティレベル	1

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

特徴

形態学	丸い□胞

識別子

引用

Sp2/0-Ag14 (Cytion カタログ番号 400481)

NCBI 納税者番号	10090
セロサウルス	CVCL_2199

発現と感受性

抗原発現

H-2d

ウイルス

検査の結果、エクトロメリアウイルス（ネズミ痘）は陰性であった。

取り扱いと飼育

培地

DMEM，w：4.5g/Lグルコース、w：4mM L-グルタミン、w：3.7g/L NaHCO3，w：1.0mMピルビン酸ナトリウム（Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37℃，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

継代培養

□胞が浮遊している培地を微量遠心チューブに回収する。カルシウムとマグネシウムを除いたPBS（T25は3-5ml，T75は5-10ml）で付着□胞をすすぐ。アキュターゼを加える（T25□胞培養フラスコ1本につき1-2ml，T75□胞培養フラスコ1本につき2.5ml）。37℃で10分間インキュベートする。浮遊□胞と剥離□胞を1つのチューブに入れ、300xgで3分間遠心する。□胞を新しいメデュームに慎重に再懸濁し、新しいメデュームを入れた新しいフラスコに分注する。

播種密度	□胞密度を5×10^4～5×10^6生存□胞/mlの範囲に維持する。
流体の更新	週2～3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。

□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

品種／亜種	BALB/c

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

免責事項

当社の□胞は、試験管内での研究目的に限定して提供されるものであり、臨床的または診断的使用を意図したものではなく、ヒトへの投与や獣医学的目的に使用されるものでもありません。使用者は、研究環境におけるこれらの □胞の取り扱いと使用について、適用されるすべてのガイドラインと規制を遵守しなければなりません。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB